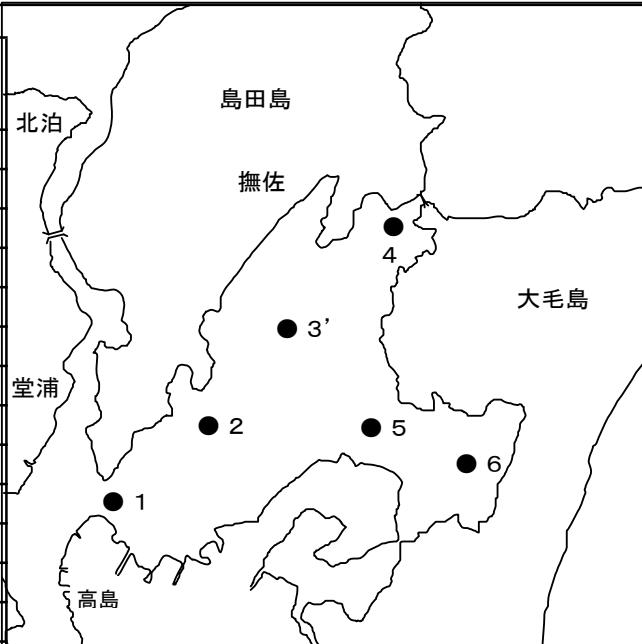


令和7年度 ウチノ海環境調査（12月25日調査）徳島県水産研究課

St.	採水時刻	採水層(m)	水温(°C)	塩分	透明度(m)	細胞/ml
						アレキサンドリウム sp.
1	08:34	0-5			6.5	-
		0	15.02	32.75		
		1	15.02	32.75		
		5	15.03	32.76		
		B-1	15.03	32.76		
2	08:38	0-5			5.7	0.01
		0	14.84	32.79		
		1	14.83	32.78		
		5	14.73	32.81		
		B-1	14.75	32.79		
3'	08:43	0-5			6.2	-
		0	14.95	32.81		-
		1	14.93	32.82		-
		5	14.80	32.80		-
		B-1	14.69	32.77		-
4	08:49	0-5			6.9	0.03
		0	15.03	32.84		
		1	15.07	32.82		
		5	14.80	32.81		
		10	14.69	32.83		
		B-1	14.68	32.83		
5	08:54	0-5			7.0	-
		0	14.61	32.71		
		1	14.63	32.71		-
		5	14.77	32.83		-
		B-1	14.52	32.84		-
6	09:01	0-5			6.4	0.01
		0	14.60	32.64		
		1	14.60	32.64		
		5	14.77	32.81		
		B-1	14.48	32.84		



備 考

麻痺性貝毒原因種を含むアレキサンドリウム属が検出されました。が低密度でした。

・下痢性貝毒原因種のディノフィシス属は検出されませんでした。

・珪藻は前回に引き続き低密度でしたが、濃縮試料では複数種が確認されます。

珪藻細胞密度 : 1cells/ml未満(St.5 0-5m)